

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	癒しの森kids みくりや		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 10日		～ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 20日		～ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 16日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援学校や小中学校と連携をとり、保護者と一緒に課題に向き合い支援を行っていることが強みである。 (適切な支援の提供)	事業所の取り組みだけでは、児童の課題解決はできないので、連携してもらえるように日頃から担任の先生と児童の様子や課題について連絡をとっている。 連携をすることで、事業所以外での児童の様子を把握し支援につながるように工夫をしている。	保護者様が困った時にいつでも相談できるような連携を取っていき、その先に児童の社会である園や学校との連携へと繋いでいきたい。
2	社会性を身につけるための(公園活動・図書館などの公共の場所)活動を積極的に取り入れそれぞれの児童への指導の課題への支援をしていることが強みである。 (適切な支援の提供)	児童が社会(公共の場所)で困っている課題が何なのか、5領域のプログラムの支援を通じて児童のスキルアップができるような取り組みを行うよう工夫している。	5領域の支援が何なのか、という理解を持って支援ができるよう指導員のスキルアップが必要である。
3	支援方法について、毎日MTを行いそれぞれの児童に合わせた個別支援を行い保護者支援やペアトレなど開催も実施していることが強みである。 (保護者への説明等)	職員が自分の関わった児童の様子を共有することで、その日の様子を全職員把握することができ、翌日以降の支援に繋がるようにしている。 同じ方向性を持って支援を行い保護者さまとの連携も取り組んでいる。	MTの議事録を全員でまわしながら記録しているが、記載方法の統一化が必要である。 職員の意識の向上するような取り組みも取り入れていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援やきょうだいへの支援は出ていない。 (保護者への説明等)	本年度の取り組みとしては、親子療育、ペアトレ等取り組みを行っており、今後父母の会やきょうだいへの支援等の取り組みも行っていけるようにしたい。保護者さまの要望もお伺いしていきたいと考えている。	保護者様のニーズを明確にして交流に向けての取り組みも立案していきたい。きょうだい向けのイベントについても検討していく。
2	職員の配置について、十分な職員配置は出ているが、職員の支援スキルにばらつきがある。 (適切な支援の提供)	職員一人ひとりの強みを支援に生かしていけるように、日々の振り返りや社内研修や社外研修を開催していく。 児童一人ひとりに向き合い寄り添った支援ができるように指導していく。	児童の特性についても意見交換を行っていく。 職員自身で児童の発達について理解を深めていく必要がある。
3	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会がない。 (関係機関との連携)	地域の児童発達支援センターと連携し、児童や保護者に対してどのような支援や助言をされているかをお伺いして事業所にも助言下さるような関係の構築を行う。	東大阪市の支援センターや行政の部署との連携を深めていけるようにしたい。